

第72回 全日本プロ選手権自転車競技大会

＜トラック競技＞ 2025 年 5 月 26 日（月）青森競輪場

2025/05/25

Communiqué 1

Doping Control（ドーピング検査）Communiqué

1. 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象となりうる大会です。
2. ドーピング検査は、競技会場内に設置された検査室を使用し行う。
3. 2022 年 4 月 14 日に改定された UCI アンチ・ドーピング規則により、検査対象競技者の掲示は、一切行わない。対象者への通告は DCO またはシャペロンによってのみ行われる。
4. 検査対象となった競技者は、DCO またはシャペロンに通知され次第、可能な限り速やかにドーピング検査室に到着しなければならない。その際に、写真付ライセンスまたはその他の写真付き身分証明書を忘れず持参すること。
5. 検査対象の選手は、表彰式への参加、メディア対応、同伴者または通訳との合流などの合理的な理由により DCO またはシャペロンの許可を得た場合は、ドーピング検査室への到着を遅らせるまたは一時的に検査室を離れることができる。しかし、DCO またはシャペロンの許可なくドーピング検査室への到着が遅れる、または離れた場合にはアンチ・ドーピング規則違反と判断される可能性がある。
6. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
7. 本大会・本大会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
8. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認して下さい。

本大会ドーピング検査に対する参加者のご協力をお願い申し上げます。

JCF アンチ・ドーピング部会